

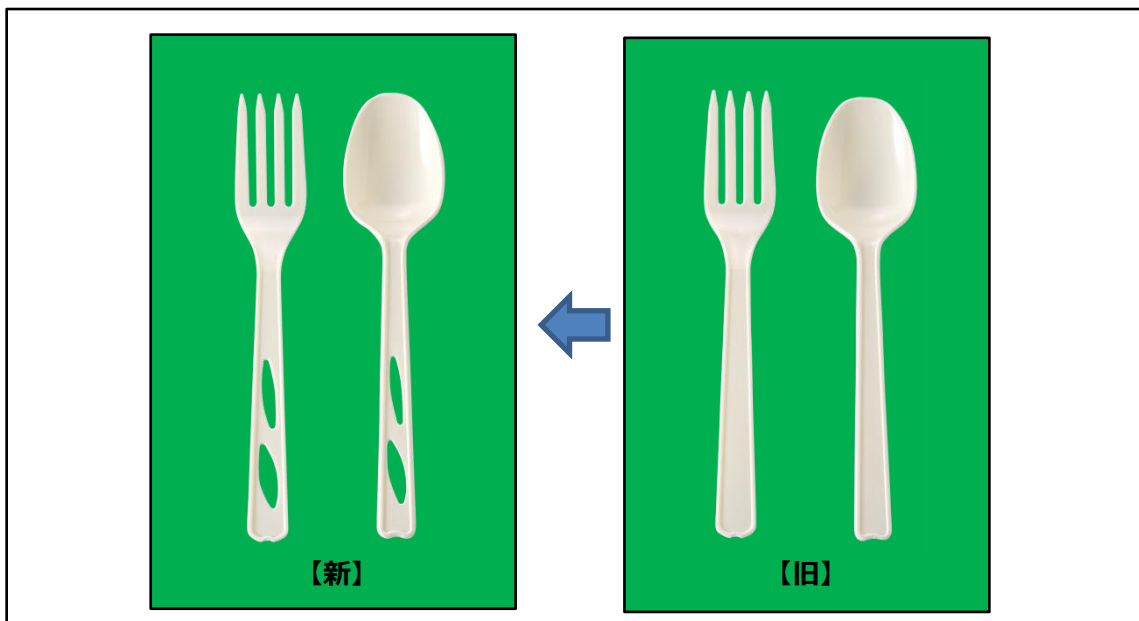
## スプーンに続きフォークも軽量化 穴開きデザインでプラスチックの使用量を削減 ～新デザインのレジ袋も数量限定で導入～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、持ち手部分を穴の開いたデザインにして、プラスチックの使用量を削減した「スプーン」を全国の店舗で導入しておりますが、このたび、 Pastaなどをご利用いただく「フォーク」についても、同様のデザイン変更を行い、プラスチック使用量削減の取り組みを実施してまいります。

新デザインのフォークは、2022年1月25日（火）から順次、関東地方（東京都、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県）と東海地方（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）、甲信地方（山梨県、長野県）のファミリーマート約8,700店で取り扱いを開始いたします（※一部店舗では取り扱い状況が異なる場合がございます）。今後、取り扱い地域は順次拡大予定で、今夏には全国の店舗にて取り扱いを開始する予定です。

新フォークは、持ち手の部分を穴の開いたデザインにすることで、プラスチックの使用量を従来品よりも約8%削減することが可能になります。すでに導入済みのスプーンとあわせると、プラスチックの使用量は年間合計で約87トン削減できる見込みです。

### ●フォークとスプーンの新旧比較イメージ



## ◆新デザインのレジ袋も全国の店舗で取り扱いを開始

新フォークの導入に合わせて、新デザインのレジ袋も、2022年1月25日（火）から、数量限定で、全国の店舗にて取り扱いを開始してまいります。※店舗により取り扱い状況が異なる場合がございます。

新デザインのレジ袋は、環境をイメージした薄いグリーンとなっており、ファミリーマートアプリの公式キャラクター「ファミッペ」とともに、「プラスチック削減のために、レジ袋は大切に使ってね」のメッセージを記載いたしました。ファミリーマートの環境に関する取り組みを紹介するホームページにつながるQRコードも掲載しております。



## ●新デザインのレジ袋（数量限定）

### 【ご参考情報】

#### ●店舗用備品に関するプラスチック対応の取り組みについて

##### ①軽量化スプーンの取り扱いについて

・お弁当やスープでご利用いただくスプーンの持ち手部分に穴を開けて、プラスチックの使用量を削減しております。持ち手部分のデザインを変更することで、プラスチックの使用量は、約12%削減されました。

##### ②生分解性のストローとスプーンの取り扱いについて

・100%植物由来の原料を使用した生分解性のストローとスプーンを一部店舗にて導入しております。また、ストローについては、バイオマス素材を5%使用したタイプのストローを全国の店舗に導入しております。

##### ③ファミマカフェ用のマドラーの木製化と、ストローレスリッドの導入

・カウンターにある「ファミマカフェ」用のマドラー本体を木製に、外装を紙製の袋に変更しております。あわせて、ストローなしでアイスコーヒー等を飲むことができる「ストローレスリッド」タイプのふたも導入しております。

#### ④レジ袋について

・店舗でご利用いただいているレジ袋には、バイオマス素材が 30%含まれています。有料化以降、レジ袋の辞退率は、お客さまからのご協力をいただいた結果、それまでの 30%から 77%に大きく伸ばいたしました。年間でレジ袋が約 23 億枚削減されました。

#### ⑤海洋プラスチックをリサイクルした買い物かご

・長崎県対馬市で回収された海洋プラスチックごみを原材料の一部として使用した買い物かごを、全国 28 店舗に設置しています。告知ポスターも店内に掲示し、海洋プラスチック問題の啓発活動に取り組んでいます。

#### ⑥ファミマフードドライブの回収 BOX に海洋プラスチックごみを使用

・2021 年 4 月から全国展開をスタートした「ファミマフードドライブ」の店舗に設置している食品の回収 BOX は、原材料の一部に、長崎県対馬市で回収された海洋プラスチックごみを使用しています。

#### ●「ファミマ eco ビジョン 2050」の概要

ファミリーマートは、2020 年 2 月に「ファミマ eco ビジョン 2050」を策定し、持続可能な社会の実現に貢献するため、2030 年及び 2050 年に向けた中長期目標として、「温室効果ガス（CO2 排出量）の削減」、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の 3 つのテーマに基づき数値目標を設定しております。



#### 1. 温室効果ガスの削減：店舗運営に伴う CO2 排出量（1 店舗当たり）

・省エネ型機器の導入により、店舗の電気使用量を抑制し、CO2 排出の削減を進めます。

【数値目標】 2030 年 50%削減、2050 年 100%削減（2013 年対比）

※2030 年 40%削減としていた目標を 50%削減へと上方修正しております。

#### 2. プラスチック対策：オリジナル商品の環境配慮型包材・容器の使用割合

・容器・包材に植物を原料にしたバイオマスプラスチックや再生 PET を配合するなど、環境配慮型素材の使用を

進めます。

【数値目標】 2030年 60%、2050年 100%

尚、レジ袋等の用度品を含めた環境配慮型素材割合は2030年度までに70%の水準を目指します。

### **3. 食品ロスの削減**

・商品の発注精度の向上や容器包装の改良等によるロングライフ化を進めることで、食品ロスの削減を推進します。尚、発生した食品廃棄物は、食品リサイクルループなどの取り組みにより資源の有効活用につなげてまいります。

【数値目標】 2030年 50%削減、2050年 80%削減（2018年対比）

ファミリーマートは、昨年創立40周年を迎えました。これからも「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、地域社会に貢献する姿勢を貫くとともに、40周年を記念したプロジェクト「40のいいこと!？」として、便利さの先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

【ファミリーマート40周年プロジェクト】

URL : [https://www.family.co.jp/campaign/spot/2021\\_40th.html](https://www.family.co.jp/campaign/spot/2021_40th.html)

以上